

2024年度 防災工学 レポート課題

土木・環境プログラム 担当 森 友宏

● レポートの内容

「ある災害（自己設定）」に関して「自分の役割」を設定し、発災前～復旧・復興に至るまでの総合的な防災対策・防災施策をまとめていく。災害の各段階に応じた施策・準備・対応を3回の事前レポートで調査を重ねていき、最終的に総合的な防災対策・防災施策のレポートをまとめる。事前レポートはA4：1～2枚程度が良い。

● レポートの評価（成績評価）

- ・事前レポート1～3の内容（各10点×3=30点）、および、最終レポートの内容（70点）で成績を評価します。
- ・レポートをまとめる際、事前レポート1～3では下記(1)～(3)の事項、最終レポートでは下記(1)～(5)の事項を満足するよう留意すること。事前レポート1～3は、最終レポートを作成するための下準備の位置付けとなる。最終レポートに備えて、逐次、情報の拡充・更新・修正を行う事。
 - (1) 想定する災害の種別、規模、役割設定、場所、防災対象の設定が、十分な下調べのもとに、適切に行われているか。
 - (2) 設定した役割ごとに、発災前後の準備、対策、復旧・復興に関する事項がまとめられているか。
 - (3) 主観的な意見だけでなく、客観的な資料・データに基づいた（出典元、引用元の表示が必須）分析が行われているか？。適切に図表を用いて、読み手に理解しやすい内容となっているか。
 - (4) 将来、何かの災害に際して最終レポートを取り出した時、その最終レポートが防災の役に立つ資料となっているかどうか。
 - (5) 上記(2)(3)の内容をもとに、現状の防災対策の問題点・改善点を見出し、より良い防災対策とするためのアイデアを提案できているか。

● 事前レポート【提出先は学科事務室のレポート提出箱】

レポート1【発題日：令和 年 月 日 〆切：令和 年 月 日 : 】

- ・災害種別、規模の設定（豪雨、台風、地震、雪害、他）
- ・対象地域の設定（〇〇市、〇〇地区 ⇒ 具体的な方がレポートを書きやすくなります）
- ・自分の役割を設定（政府職員、地方自治体職員、企業、市民、他）
- ・防災対象の設定（都市構造物、河川、橋梁、道路、山間斜面、ダム、地下街、住宅地、農地、他）
- ・防災対象の関する被害予測（対策を練るためには、ターゲットとなる被害予測が必須）

レポート2【発題日：令和 年 月 日 〆切：令和 年 月 日 : 】

- ・発災前の準備・対策（何に対して準備・対策を行うのかの問題提起も含む）
- ・準備・対策を行うことによる効果の予測
- ・レポート3の被災中の具体的な行動につながるような準備を心掛ける（被災時にはバタバタしていて、準備していないことは「できない」）

レポート3【発題日：令和 年 月 日 〆切：令和 年 月 日 : _____】

- ・被災中（直後～数日間）、被災後の行動（被災後1週間～復興まで）の具体的な行動。
- ・タイムラインを意識しながら、いつ、どこで（どこに）、誰が、何を、どうするのか？。
- ・復旧・復興を円滑に進めるための情報収集を行う（どんな制度があるのか、いつまでに何をやるのか、働きかける窓口はどこか、お金などはどの位かかるのか・・・などなど）。
- ・被災後の応急的片付けなどの「復旧」と、社会生活の回復の「復興」に関しては、明確に区別すること。

● 事前レポートの返却，コメントについて

- ・事前レポート1～3は、提出された翌週に返却するようにします。
- ・返却されたレポートに「OK」と記されている場合には、大枠の進め方はOKですので、そのままの方針で次のレポートを進めてください。レポートの内容に不足がある場合や、アドバイスがある場合には「朱書きのコメント」が入ります。今後のレポートの内容の参考としてください。

● 最終レポート【〆切：令和 年 月 日 : _____】

- ・事前レポート1～3を参考にして、発災前～復旧・復興に至るまでの総合的な防災対策・防災施策のまとめを行う。
- ・完成したレポートを見直して、より良い防災対策とするためのアイデアを提案する。
- ・レポートの枚数は自由とする（とはいえ、事前レポート1～3の内容を総合するのだから、3～4枚という事は無いと思います）。

★ 考えることの一例

技術的対策（ハード・ソフト）、タイムライン、経済的対策、避難行動、災害への対応行動、情報収集方法、災害に関連する支援・法律、政府～自治体連携、自治体～企業連携、復旧・復興に関する支障案件、など。

以上